

海外留学派遣プログラム

<事業概要>

京都地域の高等教育の国際競争力の向上、教育の質の保証と向上を目指し、大学コンソーシアム京都とオーストラリア・ビクトリア州の大学連携体との協定を生かし、単位互換事業を活用したメルボルンへの短期留学プログラムを実施しています。大学によっては多くの海外留学プログラムを提供できるところがある一方、その選択肢が限られている場合があります。大学間連携組織として、大学の枠を越えて、京都地域の大学生誰もが国際交流へのアクセスを確保できるよう取組を進めています。そうした海外留学の準備支援として、主として日本人学生を対象とした講義「英語で京都の魅力をプレゼンテーション」や「TOEFL iBTテストスコアアップセミナー」「IELTSプレテスト」を実施し学生の留学促進と留学生活の充実を目指しています。

<主な活動項目>

- ◆英語で京都をプレゼンテーション
- ◆TOEFL iBTテストスコアアップセミナー
- ◆IELTSプレテスト（学生向け）

※DI (Diffusion Index)値とは

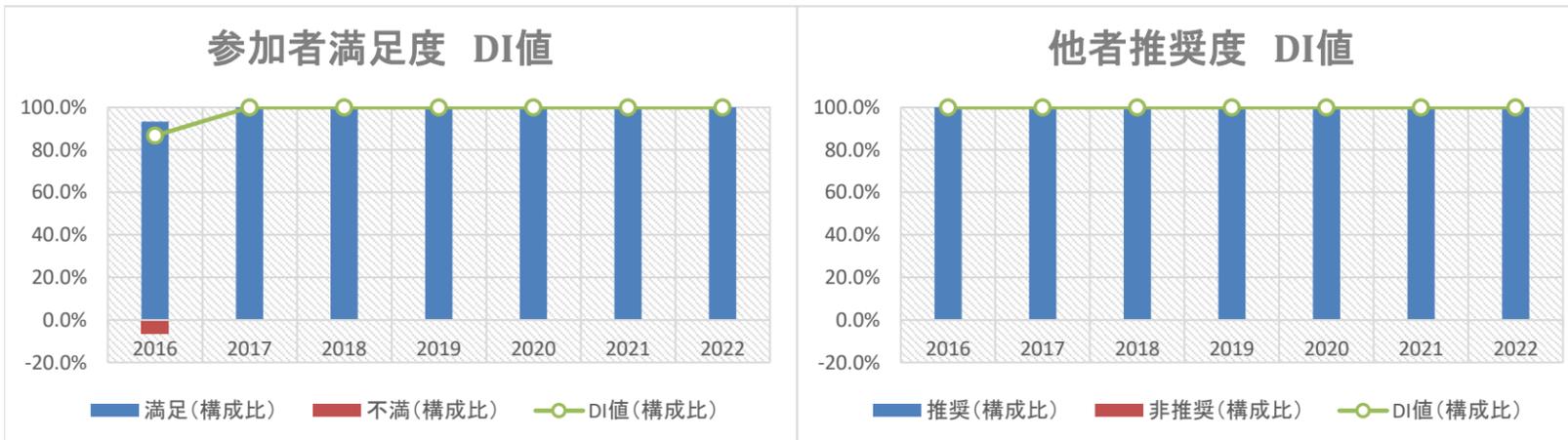
「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)／減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>

◆英語で京都をプレゼンテーション

<事業概要>

海外留学中などに、「日本や京都のことを聞かれても英語で答えられない」という声が多く寄せられたことから、多くの学生に英語で自国や京都の魅力を伝えられる能力を養成する企画として実施しています。



<参加者の声>

- 授業の際のディスカッションで自分でアウトプットする時間もあり、かつ研修もとても充実していたので大満足です。
- 茶道や華道、建築様式などの歴史についての知識をつけ、英語で表現する力を習得できた。毎時間、研修の終わりに学んだことを英語で説明する機会があったことで、苦手なスピーキング力をつけるいい機会になったと思う。
- 英語を話す機会が全くなかった日常から、週に一回は絶対使わなければならない状況が作られていたので、英語で喋らないといけない緊張感があり、それが自身への良い影響となりました。
- 京都の魅力を英語で自信を持って伝えられるようになりました。また、あやふやだった日本文化の知識も習得でき、日本人としての誇りも持てるようになりました。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	14	33	32	17	10	9	5
不満(名)	1	0	0	0	0	0	0
満足(構成比)	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
不満(構成比)	-6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	86.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	20	33	41	26	16	13	9

他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	14	33	32	17	9	9	5
非推奨(名)	0	0	0	0	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	20	33	41	26	16	13	9

＜参加者の声を受けて改善を図った点＞

○2021年度は前半4回をオンライン、後半2回を対面で実施したものであるが、参加学生からは対面での開催について非常に好評であった。このことを踏まえ2022年度は感染対策を十分に施したうえで、3年ぶりにすべての講座を対面で実施した。
○また、受講生からは「華道」「茶道」「庭園見学」いずれの内容も好評であったため、2022年度においてもその内容を踏襲した。

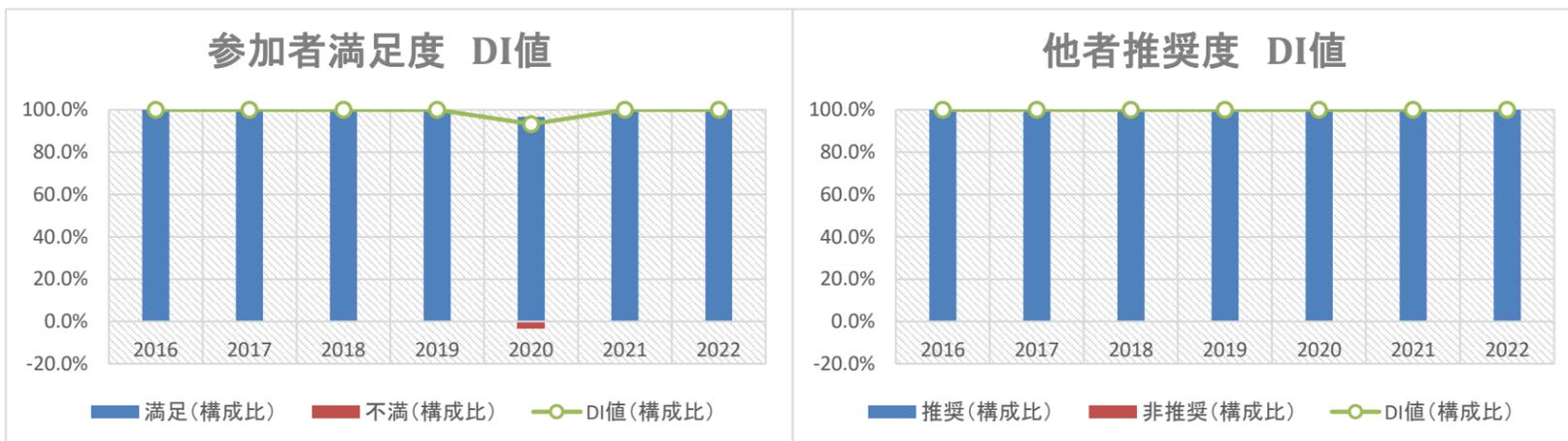
【総括】

受講生の人数についてはやや伸び悩んだが、その分、より深く京都や日本について学ぶ講義を増やし、個人のスピーキングやディスカッションの時間をしっかり確保するとともに、文化体験として、華道研修（池坊）、茶道研修（裏千家）、庭園見学（無鄰菴）を行い、その場で得られた発見や感動を英語で表現するなど、より効果的で満足度を得られるよう、工夫を行った。その結果、受講生からは、「満足した」及び「やや満足」が100%、「（知人等に）推奨したい」及び「（同）やや推奨したい」が100%など、全体として満足度が高いという結果が得られた。

◆TOEFL iBTテストスコアアップセミナー

<事業概要>

これまで財団に多く寄せられたTOEFLテストの対策講座開設の要望する声を受け、2015年度より国際教育交換協議会（CIEE）〔現ETS japan（2021年度～）〕と大学コンソーシアム京都が共催する加盟校学生対象TOEFL iBTテストの無料スコアアップセミナーを開催し、多くの参加および高いフィードバックを得ています。



<参加者の声>

- 私はTOEFLについてあまり知識がない状態でこの講座を受けたため、基本的なことから丁寧に教えてくださって、とても分かりやすかった。
- 駆け足でしたが、ポイントが押さえられていて受けて良かったです。今後実施の際は、1時間半を2日に分けて実施してもらえると助かります。Writing, Readingなど4技能を日を分けて実施、もしくは、Listening&Speaking, Reading&Writingと2日に分けての開催希望します。
- 時間がなかったのは百も承知だが、スピーキングの練習がもう少しあると嬉しかった。しかし、勉強法など様々な有用な情報を聞くことが出来たので良かった。
- 講義の趣旨と外れるのかもしれませんが、日本人のスコア分布（または参加登録者の希望）に合わせて特定の技能に絞った講義だと、さらに理解・実践的対策につながられたように感じる。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 講座の内容に対する意見等を含めたアンケート内容については、講座を提供いただいている国際教育交換協会（CIEE）にフィードバックし、今後の改善に役立てていただいている。
- 2021年度のアンケートにおいて、ポイントを押さえつつ、TOEFLの全体像や概要などが知れてよかったというご意見を踏まえ、事前にオンラインで資料配布したうえで、講師から「読む・聞く・話す・書く」の各4技能のポイント説明・練習問題と解説という方法で進行をした。

【総括】

開催方法については、2020年度以降オンラインとしている。コロナ禍の影響という側面もあるが、主催者側がオンラインでの講座開催に慣れてきたこともその要因として考えている。受講者数については、26名であり、2021年度よりもやや増加し、対面開催時（30名前後）と同水準の受講者数となった。受講者の満足度は例年どおり高いものでもあったことから、次年度以降もETS-Japanから機会をいただいたうえで、本セミナーを継続していきたい。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	36	35	20	29	57	13	18
不満(名)	0	0	0	0	2	0	0
満足(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-3.4%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.2%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	41	38	21	32	100	21	26

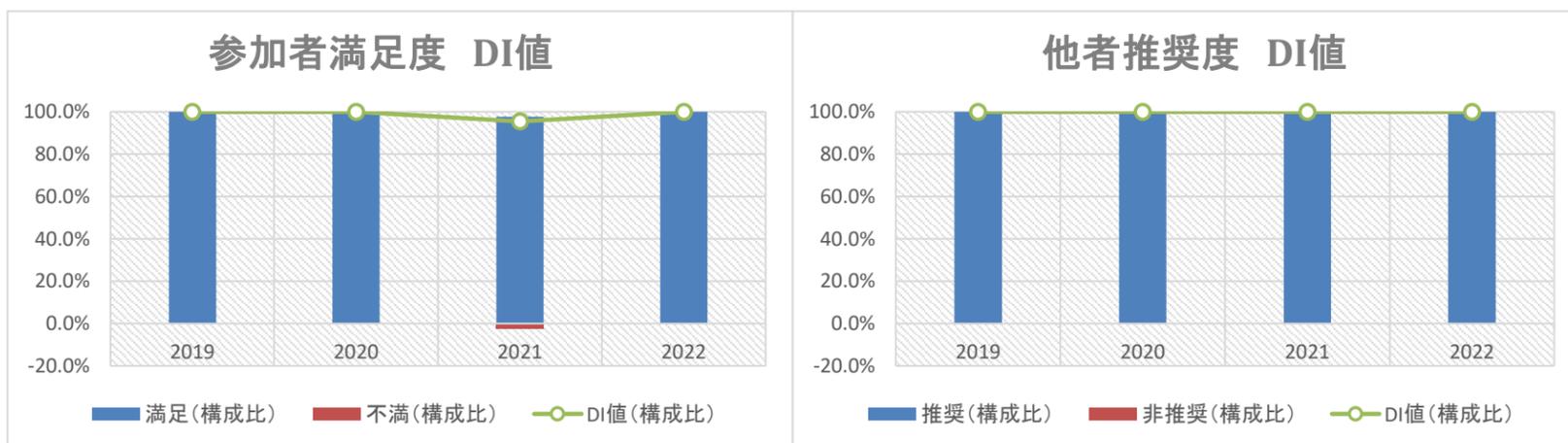
他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	33	33	17	27	53	12	17
非推奨(名)	0	0	0	0	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	41	38	21	32	100	21	26

◆IELTSプレテスト

<事業概要>

財団では、日本人学生の海外留学促進のために、語学学習支援に取り組んでいます。IELTSは、英語力証明の有力なテストの一つであり、英検の協力を得て実施する「学生向けIELTSプレテスト」では、本番に近いかたちで「リーディング」「ライティング」「リスニング」の模擬試験を無料で受けることができます。



参加者満足度

	2019	2020	2021	2022
満足(名)	42	45	43	14
不満(名)	0	0	1	0
満足(構成比)	100.0%	100.0%	97.7%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	-2.3%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	95.5%	100.0%
参加者数(名)	56	49	49	16

他者推奨度

	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	39	44	44	14
非推奨(名)	0	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	56	49	49	16

<参加者の声>

- IELTSについての概要や問題形式、それに向けての勉強法などを的確に学べた。
- 目標スコアのためには何問正解すればいいのか、テストそのものについて学べてよかったです。このようなTIPSを教えていただけの機会はそうないので、より多くの学生に受講してほしい。
- 4技能全て重要なポイントを押さえて説明してくださって、とても分かりやすかったですし、ためになったと思います。
- 換気をしてほしかった。オンライン参加のオプションがあると良い。座席の前後を1列あけるなど、ほかの参加者と距離がとれると良かった。
- スライド等にも攻略法などを簡潔に書いてくれると分かりやすかった。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 元々は、本番のIELTSの試験と同形式のプレテストとして実施しており、アンケートでも「無料」であることや「事前の模擬体験」という面での評価が高かった。
- しかし、後述のとおり、プレテストの問題する理由により、IELTSのプレテスト形式から、スキルアップセミナーとして再設計し、講座を継続することとした。
- なお、「模擬体験」に対する評価が高いことから、感染対策を施したうえで対面での開催とした。

【総括】

元々は主要な英語試験の一つであるIELTSを本番に限りなく近い環境で模擬体験することが目的であったが、2022年度はIELTS設問作成団体であるケンブリッジ大学英語検定機構からの問題提供が困難となったことから、従来の実施方法を見直し、英検が再設計した新たな企画であるスキルアップセミナーに内容を変更したうえで、学生・教職員合同形式で開催することとした。結果として非常に満足度の高い内容のセミナーとなったことから、次年度以降も、学生および教職員が学ぶ機会を得られるよう、英検から機会をいただいたうえで、企画・実施していく。